



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2016～2017年度 RI会長 ジョンF. ジャーム
RIテーマ 人類に奉仕するロータリー

クラブテーマ「出会いに感謝&ありがとう」会長 中山和雄

副会長 山口辰哉 幹事 米山晴敏

第1321回例会 2017.5.12(金)晴

司会:山口辰哉君 指揮:岡 良森君
ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 中山和雄君



こんにちは、一昨日には三島ロータリークラブの60周年記念例会に出席して来ました。

60周年の記念事業としてグローバル補助金を利用し、せせらぎ三島ロータリークラブ他7クラブの協賛を請け「スリランカ・水と衛生支援」と題しスリランカ中北部のニカウエラティヤ

周辺の6小学校に浄水器の贈呈とトイレの設置を行い、スリランカニカウエラティヤロータリークラブ・台湾新竹・大社ロータリークラブ、そして近隣クラブのロータリアンを含め総勢161名で盛大に行われました。我がクラブも次々年度には30周年を迎えます・次年度にはその準備に入ると思いますのでよろしく願いいたします。

さて今日は兵藤弘昭さんの紹介をさせていただきます。兵藤さんは1967年9月4日に伊豆の国市で3人兄弟の次男で末っ子として生を享け、父親は大工業、母親は駄菓子屋を営んでいたそうですが利益率が低いためお好み焼屋に転身し、地元消防団や地元の憩いの場として結構繁盛していたそうです。しかし年中無休で働きそして煙草をよく吸っていた為か43歳の時肺ガンと診断され翌年に他界したそうです。その時兵藤さんは中学1年生だったそうですから相当悲しかったと思われます。父親は職人気質の為あまり子供たちに理解力がなくお前は何をやっても駄目だから、高校を卒業したら自衛隊に行って根性を鍛えてもらえと言われてたり、その為兵藤さんはストレスのせいか学校に行くとお腹が痛くなり常に正露丸を飲んでいました。そんな状態でしたので勉強にも身が入らなく県立高校の受験にも失敗し三島高等学校商業科に入学しましたが無気力の為2年生の時には登校拒否、後1日休んだら留年なるところをなんとかクリアし、無事卒業する事が出来、就職は陸上自衛隊からの強い誘いもあったそうですが同級生の父親が所長を務めていた「東洋プロパン協同組合」に入社しプロパンガスの配送員として4年間勤務。19歳の時父親に家を出て行くように言われ、その後ガス屋さんでは女の子にもてないと思い、当時給料も良く経済の勉強が出来る証券会社に行こうと31社に履歴書を送付した所2社より連絡がありその内の一社静岡東海証券株式会社沼津支店に勤務。

1993年12月三井海上火災保険会社代理店として独立、その2年後菰山町議会選に出馬し1期4年間町会議員を務め、1999年7月に東京にて投資顧問の法人を設立、ITバブルがはじけ事業に失敗し破産寸前になり、沼津に戻り生命保険代理店を生業とした「静岡ファイナンシャルプランニング株式会社」を立ち上げ現在に至っているとの事です。その間学歴コンプレックスの為、再度勉学に励み産業能率短期大学を卒業し、税理士免除資格を取得する為名古屋学院大学大学院経済経営学科修士課程会計学を専攻。その後、立教大学院ビジネスデザイン研究科博士前期課程MBAコースを修了し、37歳で結婚し現在10歳と8歳の娘そして妻と4人幸せに過しています。せせらぎ三島ロータリークラブには三島ロータリークラブの高木さんに紹介され渡邊パスト会長と山本パスト会長にスポンサーになっていただき入会し、当せせらぎ三島ロータリークラブに入会させて頂き新しい友との出会いがあり本当に「出会いに感謝&ありがとう」そのものです。人生いろいろありましたが皆様との出会いがあり私は本当に幸せ者だと思います。との事でこれからもいろいろな行事に参加し毎週の例会を楽しみに、そして時々夜の飲み会を楽しみに、ロータリアンとして頑張る所存です。との事でした。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	28/36	77.78%	34/36	94.44%
今回	23/35	65.71%	会員総数	39名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、内田君、大村君、勝又君、小島君、篠木君、杉山(順)君、鈴木(真)君、田中君、土屋君、中本君、藤川君
(*出席免除会員の欠席者 片野君、兼子君、澤田君、渡邊君)

幹事報告

幹事 米山晴敏君

- ①10日に三島RC60周年記念にクラブから12名出席いただきました。
- ②三島西RCより45周年式典臨席のお礼が来ています。
- ③緑の羽根募金への寄付のお礼が来ています。
- ④例会終了後理事役員会を開催します。

卓話

建設ICT(情報通信技術)

山本良一君

静岡新聞記事「県内建設従業者人手不足深刻」には、県内の建設従業者がピーク時より3割以上減少していること。震災復興や東京五輪関連工事の影響で人手不足が深刻化し、担い手確保は厳しさを増すばかりである。

このような状況下、県は週休2日制工事の施工や、ICT(情報通信技術)活用工事などを積極的に導入して歯止めをめざす。とありICTの活用が期待されています。

ICT(情報通信技術)は建設業界では、I(アイ)コンストラクションとも呼ばれ、国土交通省及び県が平成28年度より積極的に導入を進めています。

Iコンストラクションは、小型無人機ドローンとGPSを活用して測量を行うため、従来の測量を行い施工する目印を設置するなど、人手や多くの時間を要する作業が多くあり、丁張りを設置しても重機や施工によって目印が壊れ、何度も丁張りを出しなおす等の無駄な時間がありました。人力での測量に比べ数倍の速さで測量ができ、また3次元化されたデータを重機に取り込み、衛星を数台利用して重機を自動コントロールでき、モニターに高さや位置も表示され、マシンもコントロールされますので、丁張りや目印の必要がなく、完成させることが出来ます。

当社におきましては平成27年度後半に東京の発電事業会社による伊豆の国市北江間の太陽光メガソーラー発電所建設の造成工事に導入いたしました。伊豆中央道江間料金所右側の採石場跡地に開発を進め、開発面積約20万8千平方メートルの敷地に太陽光パネル約4万2千枚を設置し、県内有数の規模となる出力11.3メガワットを予定、年間発電量は一般家庭約3800世帯分に相当し、発電した電力は東京電力に売却する、という規模です。

引き続き、伊豆の国市浮橋にも浮橋太陽光発電所の開発にかかり、規模は最大出力1.99メガワット、一般家庭930世帯分相当と規模は北江間よりも小規模であります。

工事着工以来、造成工事、設備工事とも順調に進み、ICT施工により当初の計画よりも売電時期を早めることが出来ました。

また当社では国土交通省発注の伊豆縦貫道天城北道路の修善寺佐野地区道路工事の現場においてもICT施工を活用しております。

ICT施工は少ない人数で現場を管理することによる人件費等の経費削減、丁張り等の負担軽減、丁張りが不要になり手待ち等がなくなり施工スピードアップによる工期短縮が見込めます。

建設ICT(情報通信技術)施工に取り組むことにより、工期短縮、安全施工、コスト減当のいくつものメリットがあり、これからもより多くの建設現場において導入、活用が図られることと思います。

委員会報告

社会奉仕委員会

みんなの笑顔おたまちゃん食堂への支援として石井司人さんからお米30Kgいただきました。ご協力ありがとうございました。5/10開催されたおたまちゃん食堂でカレーライスとしてふるまわれました。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

齊藤亮輔さん(山本君のゲスト)

山田哲也さん(")

おめでとう

会員誕生日

4月28日

遠藤修弘君



スマイルボックス

山本良一君:本日卓話です。私では手に負えませんので社員2人の助っ人を頼みました。建設業界のIT化についてです。

原 兄多君:年間ノルマ達成できるようにスマイルします。

矢岸貞夫君:本日私用で早退いたします。連休ボケがいまだつづいています。

兵藤弘昭君:もう夏です。

第11回理事役員会報告

平成29年5月12日金曜日 呉竹

出席者 中山和雄・山口辰哉・鈴木政則・小林勝・石井和郎・兵藤弘昭・宮澤正昭・米山晴敏

欠席者 服部光弥・内田憲一

司会者 米山晴敏

1.プログラム変更について

変更無し

2.理事役員から意見として

ロータリー旗及び備品等の設営、片付けはA・C・D・E・Bの順番で行なう

※次回の理事役員会は、新年度理事役員の皆様に参加お願い、引き継ぎを含めて出来れば